



豊橋演劇鑑賞会会報 ●発行2009年5月8日(金)

くらしの中に演劇文化を広げ、日本演劇の民主的発展をめざしましょう！



## 演劇鑑賞会と私

私が、初めて芝居に出会ったのは37、8年も前の高校生の時でした。

当時、姉の担任の先生が演劇部の顧問をしていらした関係で、ご縁を頂いたと思います。その頃は、芝居に特に興味があった訳ではありませんでした。けれども、有名な俳優がキャストの芝居、心も弾む楽しい芝居、高校生の私には難しく理解できない芝居等々、沢山の作品と出会い、芝居を観る度に何とも言えない感動や刺激を感じました。どう言う理由でご縁がなくなってしまったのか定かではありませんが、一度切れてしまいました。

子供が小学校低学年の時「おやこ劇場」に誘われました。二度目のご縁です。上演作品は文句なく楽しめ、親である私の方が例会が待ちどおしかったほどでした。

二度目のご縁も子供の成長で切れてしまいました。

三度目のご縁は「勤労福祉会館存続」の署名を頼まれた時でした。署名と同時に入会もしてしまいました。私一人で入会するつもりが、いつの間にか夫も入会していました。

子供も社会人になり、夫との会話も少なくなりがちでしたので、共通の話題ができて良かったと思います。

最初の例会は、妹尾河童の「少年日」でした。幕が下りる時、何故か涙がポロポロ溢れてきました。平凡な毎日の繰返しの中で、久しぶりの感動だったのだと思います。この感動をこれからも味わいたいと思いました。

「二度あることは三度ある」ではなく「三度目の正直」のご縁です。跡切れる事無く続けていきたいです!!

ZAOⅢ 加藤洋子

ケイタイでんわの電源は切りましょう！



# 三屋清左衛門残日録

みつやせいざえもんざんじつろく

目録  
夕映えの人

# 夕映えの人

原作 藤沢 周平

(文春文庫刊「三屋清左衛門残日録」より)

脚本 八木柙一郎

演出 安川 修一

美術 廣瀬誠一郎

照明 石島奈津子

音楽 響 小山田 昭

衣裳 裳 今西 春次

殺陣 陣 宇仁 貫三

所作指導 坂東 秀調

舞台監督 石井 道隆

制作 哲也

## 例会日

●5月8日(金) 6:45開演

●5月9日(土) 1:30開演  
(2ステージ)

●上演時間 2時間45分  
(休憩15分含む)

(開場は開演の30分前)

●豊橋勤労福祉会館  
(アイブラザ豊橋)



いま、清々しい男の生き方を描く……

数々の名作舞台を作り上げてきた俳優座が、  
藤沢文学の最高峰といわれる名作を遂に舞台化！

藤沢周平作品第一弾として上演し好評を得た、短編集の舞台化「きょうの雨 あしたの風」に続き今回は傑作長編を八木柙一郎脚本、安川修一演出で「三屋清左衛門残日録」夕映えの人」として皆様にお届けします。

東北のある小藩……

前藩主の用人であった三屋清左衛門(児玉泰次)は、現藩主への交替に伴って隠居を願い出て許される。家督を長男の又四郎(内田夕夜)に譲った清左衛門は晴れて自由の身になった筈だが、何か安堵のあとに強い寂寥感がやってくる。隠居の身となった清左衛門は「残日録」と名づけられた日記に己の行動とともに心の内面も綴ってゆく……

用人の職を離れて隠居した三屋清左衛門を主人公に、現役を退いた人間の寂寥感と清左衛門をとりまく旧友金井奥之助(可知靖之)や町奉行佐伯熊太(莊司肇)たちとの友情、裏切り、小料理屋「涌井」の女将みさ(川口敦子)との淡い愛情を通して人生の夕暮れに顔をそむけず夕映えに向かつて真つ直ぐに歩む主人公の清々しさを情緒豊かに描きます。

# 出演者紹介

三屋又四郎 (清左衛門の嫡男) 覆面の侍  
 船越喜四郎 (現用入) 山根義中 刺客 1  
 朝田弓之助 (善州家老) 辰 三  
 清 次 (小料理屋「満井」の板前) 覆面の刺客  
 小木慶三郎 (清左衛門の同輩) 夜廻り 覆面の侍  
 三屋清左衛門 (元用入)  
 佐伯熊火 (町奉行)  
 金井奥之助 (清左衛門の同輩)



内田夕夜 島 英臣 河内 浩 伊東達広 立花一男 児玉泰次 荘司 肇 可知靖之

奈 津 (清左衛門の娘)  
 おなみ (小料理屋「満井」の女中)  
 里 江 (又四郎の妻)  
 おうめ (菓千屋「鳴戸」の娘) おけい (「満井」の女中)  
 おみよ (野塩村の嫁) 女 中  
 み き (小料理屋「満井」の女侍)  
 横山半蔵 (同心) 弥八・刺客 2 覆面の侍  
 金井裕之進 (奥之助の息子) 竹之助 覆面の刺客  
 黒田欣之助 重 吉 覆面の刺客 犬井彦之丞



山本祐梨子 桂 ゆめ 大庭 藍 生原麻友美 清水直子 川口敦子 斉藤 淳 志村史人 塩山誠司

## 父のこと



遠藤 展子

私には「三屋清左衛門残日録」の中で、心に残る言葉があります。「いよいよ死ぬるときまで、人間はあたえられた命をいとおしみ、力を尽くして生き抜かねばならぬ。」実際に父は私に身を持ってその事を教えてくれました。

父にとって最後の入院になったある日の事、その日も父の具合はあまりよいとは言えない様子でした。病院で出された食事を食べるのも辛そうで、娘の眼から見ると食べ物無理に流し込み一生懸命食べている、そんな印象を受けました。その時、私の視線に気づいた父が箸を止め、私の方を見て言いました。「こんなになっても、必死になつてご飯を食べて居る、そんな父の姿をお前はいいじゃないと思うかもしれない。でも、それ

は違うんだよ。食べないと死んじゃうからね。ご飯を食べられるうちは、生きられる。だから、一生懸命食べて居るんだ。」と言つて私の眼を見て話をしてくれました。私は思わず、「お父さん、分かるよ。私も風邪を引くといつともより沢山食べるもの早くなおろうとするからいつもより沢山食べるよ。」何気ない親子の会話の中で、私は父が、今必死で生きようとしていると感じ、父は何事もどんな状態になつてもあきらめてはいけないという事を私に教え、そして、父がまさに力を尽くして生き抜いていた瞬間を見たと感じました。

人は誰でも皆、いずれ永遠に愛する人の前から居なくなつてしまいます。それは皆平等に与えられた試練だと思えます。しかし最後まで与えられた命を大切に生きた人は、その人の体が無くなつても、心の中に大きな存在として残ります。……

ファンタジックコメディ

# ハーヴェイからの贈り物

HARVEY  
Written by MARY CHASE Director GREG DALE

からの



(キャスト)

寺川	泉	憲
木	端	二
山	村	里
海	田	是
佐	宝	之
葛	藤	淳
杉	城	い
高	山	子
佐	越	紀
藤	藤	り
	川	梨



作/メリー・チェイス  
 訳/黒田絵美子  
 演出/グレッグ・デール

## 例会日

- 7/10(金) 6:45開演
- 7/11(土) 1:30開演  
(2ステージ)
- 上演時間  
2時間20分(休憩15分)  
(開場は開演の30分前)
- 豊橋勤労福祉会館  
(アイブラザ豊橋)

舞台に出てくるハーヴェイという大きなうさぎ、さてあなたには見えますか?

編集/枝折戸

人間には存在しないものを見る力があります。

イマジネーションは、この作品のキーワード！自由な発想を持ち、イマジネーション豊かなキャストとスタッフ……。

NLTで芝居を創るのはいつもとても楽しいです。今回は川端さん、木村さんと久しぶりにご一緒できて一層嬉しく思っております。寺泉憲さんという知的で才能豊かな素晴らしい俳優さんと作品を創る事にもわくわくしています。寺泉さんの英語力は「ハーヴェイからの贈り物」を更に素晴らしい作品にしてくれましたし、ユーモアのセンス、微笑む姿、少年のような魅力により、稽古場の雰囲気也非常に良くなりました。

### 童心を忘れずに

演出  
グレッグ・デール

### 3月例会 劇団文学座「初雷」

## 津田理子役の 倉野章子さんへのインタビュー

今回は「初雷」の主人公・津田理子役を演じました倉野章子さんにお話を伺いました。

Q「異型家族」というセリフがお芝居の中に出てきましたが…。

(A) 理子自身は異型とは思っていませんでしたので、改めてそういう言い方をされると、そういうものかな。でも、よく定型だと思って異型って多いと思うんですね。家族って、あたり前と思っているのが、あたり前で…。

川崎(照代)さんの作品って、「野分立つ」もそうなんですが、嫁と舅ととっても仲良く、亡くなったお婆ちゃんが嫉妬するんですね。夫亡き後、大黒柱で働き、のさばって、平気でおじいちゃんに肩をもませたり、本当の父娘のように暮らしてきたのネ。息子が大学を卒業することを機に、45年たったオンボロの家を建て直そうとしたところに、実の娘夫婦が長い間商社マンで(海外赴任で)出ていたのに帰ってきて、「家を建て直すから一緒に住もう、佐和子さん、あなたお嫁さんだから、何の権利もないのヨ」と。それこそ、野分立つ



言葉を使うって家族をみつめさせる。「初雷」っていうのは、理子の人生において初めて鳴った雷。自分のポジションを見直させること。家族の中でよかれと思っていたことが、果して本当に良かったのかどうか。みんな自立ばかり考えていたけれど、本当の自立はしていないかったんじゃないかって。思い込みでなく、本当の思いやりみたいなものをできたらいねって。

Q 実生活の中で、子育てのため休業されていた、とお聞きしていますか…。

(A) 14年ぶりに職場に戻って、私、主婦に向いていなかったワ。相当無理してたナって。高校出てすぐ、この世界に入って花嫁修業も何もせず、結婚し、これも、これも、えーッ、これも私がするの!? カルチャーショックでした。稽古場に来た時、やっぱ、私、ここだワって…。理子がいよいよ職場復帰するぞ、社会復帰するぞっていうのが解るような気がするんです。この仕事を選んだのは、定年、男女差別がないこと。でも、セリフが

た日に帰って来た息子の一言で、おじいちゃんとの仲をお婆ちゃんがずつと疑って暮らしていたということを知り、建て替えの名義を変え、家乗っ取ろうとしていたす前に、とてもこんな家に居られないって、佐和子(主人公)が引越す。その最後の日に、おじいちゃんの方が「連れていってくれ」って。それが「野分立つ」なんですけど…。ご覧になりましたか?(一同頷く)

川崎さんのタイトルって、「野分立つ」とか「初雷」とか、季節の



覚えられなくなったら、定年かナどちらかというト、女優の場合、若い時にマスクミにちよつと顔を知られるか、知られないかってことは、すごく大きいんです。私の場合、ラッキーなことに、ちよつと(役)をつけてもらったもので、戻ってからも覚えていて下さった。ポーラテレビ小説の「アンラコラの歌」っていう泉晶子さんとその娘の二代に亘る話で、その娘役でした。

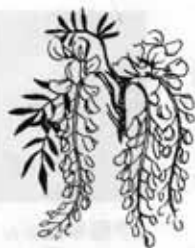
60歳くらいのメイクをして囲炉裏端で泉さんと二人でいる傍で、娘や孫役の子たちがチャホヤされているのを見て、男の人って、見た目で対応するのかって実感しました。アレ? 年をとるってこういう思いをするのかしら…。男の

人って、そうヨ! 見た目のネツて思いました。(笑)

Q 娘(理子にとって姪)の智子さんの最後の言葉には、泣けて家族って何だろうって感じました。理子さんの家族への思い、15年間尽した結果が表われているのではないのでしょうか?

(A) 複雑ですよネ。思ってもいなかった、こんな結果。ただ智子さんの覚悟があるだろうナって思う。「野分立つ」もそうですが、これも色々なことを話し合いながら「こうかネー」って思いながら、帰って頂ける作品だろうナって思っています。

※インタビューの時間いっぱい、川崎作品を熱く語って下さり、等身大の女性、理子を通して、私たちに家族のあり方、自分自身の生き方を考えさせてもらいました。終始、笑顔が絶やさない理やかな女優さんでした。今後も活躍を期待しています。



# 2000名の会員をみんなで早く回復させよう！ 春のサークル代表者会議を開きました

4月4日から10日までの間、春のサークル代表者会議が開かれました。133サークル140名（参加率38%）の出席でした。今回のサークル代表者会議は、6月7日（日）開催予定の第34定期総会に向けて、08年度の活動のまとめと09年度の活動の諸課題をテーマに話し合われました。

08年度の活動の特徴は、昨年5月の「足摺岬」から今年1月の「サウンド・オブ・ミュージック」まで5例会連続でサークル数、会員数ともに着実に増やし続け、前進の足がかりをつかんだかに見えましたが、3月例会「初雷」で86名の退会者が出て、一挙に2千名を割り込む厳しい現状にあることが報告されました。

運営サークルの活動においても、「運営サークルの時には1名以上の入会を」という課題が、6例会平均でクリア比率29%と

いう達成率にとどまり、会員を増やす取り組みの弱さが示されました。その原因の一つが、運営サークルに参加するのが代表者一人であり、サークルの会員みんなのものになっていないことがあげられます。全国の鑑賞

会がめざす「サークル総参加の運動」とは、サークルの会員が全員自覚的に活動することをめざすものです。そのためには、サークルそのものが顔の見える関係と話し合いのできる日常的な活動が必要です。09年度は、会の基礎であるサークルにこだわって、話し合いのできるサークルづくりとサークルの会員全

員が参加できるような運営サークルの活動をめざしていきたいと思えます。

08年度の例会については、どの例会も楽しめたという評価が圧倒的で、とくに「サウンド・オブ・ミュージック」の感動は鮮明に心に刻まれたようです。またセリフが聞こえない問題についても意見が出されました。ホール内の構造上の問題がその主たる原因ですが、劇団にも可能な限り俳優の声が届く工夫をしたいということでした。2千名を割り込んでいる現状にあって、全てのサークル・全員に今の厳しい状況を伝え、みんなの力を結集して、意識的に会員を増やす行動を全力で進めることを確認し合いました。（幹事会）

## 3月例会「初雷」で 新入会を迎えたサークル

数字は入会者数、太字は  
運営サークルのお誘いです。

八笑もん	1
小窓	1
青い空	1
ぎやらりー～亜沙	1
はらっば	1
ガラストマト	1
藍	1
タッチ	1
ゆみは	5
コンジュ	2
表 笛	2
Z A	2
蓮 華	1
おりえんと	2
コメット	1
ブーケ	1
萩の花	2
ロッキー	2
すこやか	1
枝折戸	1
ジムニー	1
イスクラ	2
楓	1
ウッドストック	1

## 第34回 定期総会のご案内

とき／6月7日（日）13:00～16:50

ところ／豊橋商工会議所3Fホール

※2009年度の活動方針を決めていく大切な会議です。サークルの代表者だけでなく会員みんなで参加しましょう。

※欠席されるサークルは必ず委任状を出しましょう。

※当日、記念講演として劇団民芸の伊藤孝雄さん（「静かな落日」で出演）のお話があります。



伊藤孝雄さん

## 「初雷」



- 感想文 -

## 初雷の感想

ぎやうりー亜紗 坂井あさ代

数ある家庭の問題は、それぞれ個々の問題でありながら、普遍的な女の生き方の問題として、クローブアップされていた。

人と人の関わりの中で、自分の人生は何だったのか、これでよかったのかどうか、自問自答しつつ前へ一歩踏み出そうとする理子さんの生き方は、私への応援歌であった。

## 伝わるメッセージを大切に

花さかり2

エブロンンのプレゼントからスタートし、井当にこだわり「みっちゃん」となげ呼ぶんだらうとちよっと変わった家族関係だなあと感じ

ながら鑑賞スタート。話が進んでいくうちに女性としての在り方を考えさせる内容にどんどん入り込んでいく自分がありました。どんな展開になるのだからと思うながら最後には、理子さんが子育てに専念するとの決め、一生懸命してきたことに同居する家族が理子さんの背中をみて育ち、感謝していることに感動しました。演劇を鑑賞することで伝わってくるメッセージをその都度大事にしていきたいと思えます。

## ミ子ちゃんの人生に乾杯

おりえんと 近藤玲子

霧が降りると心の中にさわやかな風が吹き抜けた。兄嫁の突然の死で残された二人の子供を15年間育てたミ子ちゃん、その裏には人としてそうしなければ、自分の中のみちがいを正したい思いがあった。でも15年前のキャリアを取り戻したいと言いつつミ子ちゃんを家族は懸命に支えようとしてミ子の愛情と信じる。娘の智子がバツイ子持ちの40才の中年男性と結婚すると言いつつ、心配しながらも家族は彼女を応援し味方になる。智子もミ子ちゃん、15年間のレシ日本を持って何の不安もなく結婚する。津田家の家族は異形家族、本当の親子関係ではない。それでもこんなにお互いが深い愛

情で結ばれている。どんなに逆境にあってもその家族を理解し応援する。我が家の子供達も今はそれぞれ場所で自分の道を歩んでいる。家族として本当の意味で応援するということはどういう事なのかを考えさせられた素晴らしい作品でした。

## 良かれの決断も見方が変わる

カントリー EN

父の介護に疲れた理子は共働きの義姉に父を託した。幼子を残した養育に専念して15年。社会人になった娘は叔母のように生きれば良いと子連れやもめと結婚。

良かれと決断した事も見方が変われば評価は正反対。50才になって自立の為に再出発をする理子。自分も懸命に生きてきた過去を糧に前進あるのみ。後悔無き様に過ごしていきたい。

## 15年目に来た初雷

山茶花 田中

今回は、家族とは何か?と考えさせられた作品だったと思う。

理子と言う女性は元来尻し型の人で、仕事第一で35才迄働いた会社を辞めて兄と同居し、二人の子供を育てるため家事専一に15年の月日を過ごした今、その功罪を問われる事になる。なんと理子があまりにも可哀相ではないか。50

才になっても、これから仕事の誘いもあり、意欲をもって出直す決心をすると言う。ユーモアも交えての演技に救われた。

家事と言えば日常茶飯事と思われ勝ちだが、これがそう片手間で作れるものではない。主婦の頭の中では片時も家事を忘れる事は出来ないのである。それを当たり前のようにやっている主婦は本当にえらいと思いついて直している。

## 演劇鑑賞会の醍醐味

ZAOIII 庄あつ子

子供が成人した後、これからの自分の生き方を考えるという主人公と自分を重ね合わせ、考えさせられる芝居でした。観劇すること、立ち止まって考える機会を与えられることが、慌ただしい毎日を送っている私にとつて、とても大事な時間となります。そして「家族」ってやはり無償の愛が絆を結ぶのだと思います。智子の選択は、理子の選択の結果でもあると思うのです。

今回は、運営サークル会を通して



て、例会の前に若手女優上田桃子さんのお話を聞いたり、芝居の話を聞いたりして新しい発見。パンフレットを見るだけのいつもより身近に感じました。皆さんも、気軽にどんどん参加してみてください。これが演劇鑑賞会の醍醐味です!

## 放送席から舞台を聴いて

宝陵 成田悦子

目の前にどっしりとした幕があり、津田家の窓越しにやつと理子や桃子たちが見える、という場所に放送席はありました。お世辞にも「観る」所ではありません。「会場でもいいですよ。」と勤めてくださったのですがなんとなくそこが良かったので..。

(本当の私ってなんだろう)と模索していた日々、「君の力が必要。可能性に賭けてみないか。」この言葉で言われたら、きつと私も飛び立つことを決意したでしょう。同じ板の上にいる人、数メートルしか離れていない人から、思いがけず心揺さぶられたこの言葉を聴きました。

舞台監督さんがヒソヒソ打ち合わせしたり、スタッフがおつと小道具を用意したりなどは、場面に不思議に溶け込んでいて全然気になりません。会員の皆様も一度放送係を体験してみたいかたがどうでしょう。いつもとは違う感覚で「聴く」ことができると思います。

# 運営サークルのページ

第210回例会  
劇団文学座

「初雷」

例会日

3月24日(火)  
3月25日(水)

## 運営の感想

### はじめてのことばかり

カラストマトA

今回初雷の運営担当に参加させて頂きました。演劇が終わってからの役者さんとの交流会。そして舞台が始まる前のバックステージツアー(実際に、舞台上に立っているいろいろな装置や仕組みを見せてもらいます)また、当日の受付担当と、初めてのことはかりでした。

演劇を見るばかりではなく他の体験もでき、演劇に対して今までとは違った奥の深い演劇鑑賞になりそうな自分があります。これからもできる限りいろいろな体験をさせてもらい、協力して行こうと思います。

### バックステージツアーに参加して

カラストマト

舞台上の上立って客席を見渡すと客席から想像する感覚とは大違い。前席は勿論、後方の席返しっかり顔が見え、居眠りしてれば分かる程です。舞台のリビング横の理子さんの部屋。扉だけ作ってあると思っ

実際はダンスと鏡台があり、ピツクリしました。舞台監督さんの説明によると廊下の窓ガラス越しに写る理子さんの部屋の内部迄考え

て作られたそうです。客席から見ているだけでは分からない舞台装置。知らない世界を覗く気分は最高です。また、参加しようと思っ

### 劇団を支え、

#### 自分も支えられて

カントリー 野口

百年に一度の不況と86人の退会を受け継ぐ「初雷」。運営委員他の罵き思いに応えたく頑張った。結果、新入会無しで辛かった。

気を取り直し小夜食の準備。昨年同様の紫芋羊羹、土筆と菜花の白和え、落花生の煮豆、甘夏他。俳優他、皆さんの「美味しい」の声に「良かった!!今年も無農産で自給自足頑張ろう!!」

鑑賞会員が劇団を支え、会員各自が支えられている自覚を持ってたら会員を増やせるのではと思う。

### カーテンコールにワクワク!

花ざかり2 生地

バックステージツアー、カーテ

ンコールの際の花束、楽屋片付けと大忙しでした。花束をあげるのは初めての事、ワクワクドキドキ花嫁さんにあげて握手までして何を言ったのか覚えてません。楽屋掃除に行ったらトレーナ姿の花嫁さん、初めは分からなかったけれど一緒にバキバキと動いて下さって俳優さんで大変だなと感心した事でした。有意義な一日でした。

### 60打数ノーヒット

#### それでも諦めるな!!

ロッキー ぼりえもん

パンフレット「入会のお誘い」を手に職場やPTAの繋りに演劇鑑賞会の魅力や例会「初雷」の見どころを宣伝。声かけは60名を越えたが、1名も入会がない。急激な景気の後退とともに知人の気持ちにもどこかブレイキが掛かっているような...

私の心も折れそうになっていたが、2名以下の準サークルだったので、どうしてもサークル化したかった。

明日はいよいよ例会前最後の運営サークル会。電話の向こう側で一緒に自主映画を制作していたときの友人が「僕に電話してくる

なんて相当困ってるよね」と当時の女性仲間と2名で入会。共に好きなことに打ち込んでいたときの仲間意識の復活である。

### 自覚的、自主的、民主的な運営を!

ギャラリー亜沙 坂井あさ代

例会の成功は、劇団を最高の状態で迎えることである。退会者86名は、この一年最も多い。クリアしていくのは、サークルの一人一人が声をかけることこそ大切な演劇鑑賞会。なかなか厳しく入ってこれない。35名にとどま

た。自覚的、自主的、民主的、このことを何度にも胸にきざみました。

### 小夜食作り

おはぎ2 神藤昌代

初めて参加させて頂きました。自分の出来る手作りパンで、一人でも美味しく味わって戴ければ、材料からメニュー吟味しました。お持ち帰りができる様小袋に入れ、焼斑、成型もバラエティーに富んでいます。それが手作りの良さです。演劇をみてる時、パンを焼いている時、私にとっては至福の時

間です。

### ロビー交流会に参加して

花ざかり 佐々木

今回私達のサークルは一番前の

席で、よく声が聞こえました。長い言葉をよく覚えてと、感心していました。でも倉野さんが話をして下さった事について、劇場の大きさを工夫しているんだな一と思い、役者さんの苦勞に感謝しています。

カンパレ理子さん、私にはとても真似できませんが、よい仕事が見つけられます。

### チラシ折込みに参加して

ゆみほり 白井

第一回の夕鶴から会員になり、出だり入たり。現在のゆみほりサークルまで渡り鳥会員です。運営もいろいろ何回もやっています。大変なチラシ折込みでした。

会員の皆様が楽しく芝居を観るに最初に手にするパンフは大切な資料です。心をこめて準備しました。鑑賞会は観るだけでなく、運営に参加することも楽しめがあります。

### バックステージツアーに参加して

妻苗2 S・T

初めての当番で舞台裏を見学しました。舞台上から客席の後方まで意外によく見え、観劇態度にも気付けられました。舞台裏での装置配置などそれぞれ計算されていて、演劇に対する興味の持ち方、鑑賞の仕方などが上達した思いました。チャンスがあれば、多くの人を経験した方がよいと思います。



# 運営サークルのまとめ



文学座公演  
「初雷」

## 第1回運営サークル会

1月14日、20サークル24名の参加で第一回がスタートしました。

(一)サークルを語ろう。

(二)拡大目標をもちましよう。

(三)運営委員を決めましよう。

ということを話し合いのテーマとして語り始めました。自分のサークルを語ると言うことが、これらがなかなか難しく、サークルで話し合っていないのが現状で、サークル代表者の責任、みんなにまかされている状況がみえた。話し始めると、最初から仲間づくりの難しさ、声はかけているがという話になり、拡大していくという雰囲気は大いにあり、生活の一部であり、

生きがいで楽しみと、観劇のライブの醍醐味が話された。サークルづくりを投げかけたが、具体的にサークル目標は出なかった。

## 第2回運営サークル会

2月3日32サークル41名の参加。

前半は、文学座上田桃子さん、制作の友谷達之さんをお迎えしてのトーク、作家川崎晴代さんのスピーディーなセリフの応酬、あえてこどばにこだわりの、女性のおかれてる立場を表現して秀逸という話など期待をふくらませた。

後半は、運営サークルの目標を60名入会を目指す。この時点で入会5人予定8人、退会86人なので、声かけの電話を連絡しあうよう呼びかけた。

## 第3回運営サークル会

2月20日29サークル33名の参加。

サークル会員数の前例会クリアに向けての取り組みの経過報告、反応を話し合った。

努力の成果は、まだまだというところで、今一度なぜ演劇鑑賞会が大切かを話し合った。麦笛の入会の話から、友達づくりだよという励ましがあり、この会があるからこそという思いを確認した。

思いこまず先入観なしで声かけしよう話し合った。この時期、幹事会からの応援あり。準サークル(2名以下)のサークルへのサー

クルにしましようのハガキと電話活動、前例会での新入会者への電話がけなど、運営サークルへの励みになりました。

## 第4回運営サークル会

3月5日26サークル27名の参加。

まず自分のサークル1名クリアしようが最低限の課題と話し合いました。なかなか状況が見えづらく、サークルの人達に伝わっているかどうかサークル会を聞いてほしいと呼びかける声かけが情勢に負けていて、あきらめかけている雰囲気もみられた。サークル代表者の個人的な呼びかけや、責任の範囲にとどまらず、もつと他にできることはなにかと話し合う。ここであきらめたら2千名は割り込んでしまう。どうしても、という思いは、みんなの発言に感じられる。

当日の担当などもここで決めた。臨時の運営サークル会も、3月13

## 運営委員

- 王前 博子(ササリンドウ)
- 田中 咲子(山茶花)
- 宮瀬 博之(ありえんと)
- 庄 あつ子(ZAO3)
- 坂井あさ代(ぎやらりー亜沙)
- 堀江 啓司(ロッキー)
- 佐々木栄子(花ざかり)

日にやろうと提案した。運営委員の電話がけも、代表者に伝わっていないときもあり、もう一度、連絡を密にするように、声かけあった。

## 臨時運営サークル会

必死の思いで、電話がけ、出会った人、一人ずつに声かけしている状況を話し合った。

3月13日18サークル18名の参加。この時点での参加者もぐっと減り、さみしい雰囲気の中、入会者数もなかなか増えず、苦悩とあせりがみえた。しかし、みんな、何とかしようという意気込みには充ちていた。今一度「初雷運営サークルの皆さんへ」という、ハガキや2名以下の準サークルに出したハガキのことを話し合った。あなたの方が必要ですよということが届いたのかどうか。萩の花とロッキーのサークルは、60名声かけして、

2名の入会があり、やっとサークル化が実現したところに拍手して、今一度声を約束。

## 第5回運営サークル会

4月1日11サークル12名の参加。

運営サークルを振り返って感想、初雷の感想を話し合った。86名の退会は目標達成出来ず。



## 会員数

1月「サウンド・オブ・ミュージック」 2,029名  
3月「初雷」 1,978名

入会 35名、退会 86名 - 51名

## サークル数

新サークル5 減サークル10 - 5サークル  
(根分け1)(サークル化4)

## 運営サークルの活動

運営希望サークル 46サークル  
参加サークル 44/46サ 96%  
入会を避けたサークル 9/44サ 20%  
入会者数 17/35名 49%

## 例会参加状況

3/24(火)ヨル 808名  
3/25(水)ヒル 788名  
計 1,596名  
参加率 81%

●発行2009年5月8日 ●印刷(株)ブレンマキノ ●豊橋演劇鑑賞会事務局 豊橋市駅前通り1-1-109豊橋ビル2F 電話(0532)5411079

運営サークル会の日程

5月「三屋清左衛門残日録」

第5回運営サークル会  
5/15(金)2:00～と7:00～

7月「ハーヴィーからの贈り物」

第1回運営サークル会  
5/12(火)2:00～と7:00～

第2回運営サークル会  
5/22(金)2:00～と7:00～

第3回運営サークル会  
6/8(月)2:00～と7:00～

第4回運営サークル会  
6/24(水)2:00～と7:00～

第5回運営サークル会  
7/16(木)2:00～と7:00～

(運営サークル会は代表者  
だけでなく、各サークル  
複数で参加しましょう。)

7月例会は、劇団NLT公演の「ハーヴィーからの贈り物」です。主人公のエルウッドにしか見えない「ハーヴィー」という親友を通して、周囲の人々が繰りひろげる大騒動。エルウッドの周囲の人々の欲望や醜さを痛快に描き出す爆笑コメディの登場！ NLTのみなさんと一緒に運営サークルの会員みんなが参加して例会を成功させましょう！

7月例会 NLT「ハーヴィーからの贈り物」運営サークルのみなさん

A番のサークル	B番のサークル	C番のサークル	D番のサークル
真 砂 藤 ふたがわ E・T ミルフィーユ	イスラタ あくみ ホトトギス 三色だんご ルージュ 歳 ゆとり 三色だんご2 ルームサービス サルスベリ Tennis ZAOみなみ めぐる季節 八笑もん 夢見人 夢見人II 夢見人III 花 中	天 伯 熟女の会 ウッドストック2 ウッドストック 下 条 青 葉 葉のバラ 北 斎 池のこい ねこまたぎ いずみ 泉 イズミ 夕鶴の会 礼登呂1 礼登呂2 友 愛 礼登呂4 クンゲーラ 梅の会 でしべる 浜千鳥	YDCエンジェルズ スズラン ドリカム 成章 オットット 思案庭 エルカ

希望サークル  
52サークル

サークルみんなで  
参加しよう！

開演5分前の中央づめについて

\*舞台と観客の客席を緊密にして観劇しましょう。

開演5分前の1ベルの後、運営サークルの指示で、会場中央に向かって座席の横づめをします。

\*開演に遅れた方は、2階席へ。

休憩後は指定座席の「列」の空いた席に詰めてすわりましょう。

例会場内での飲食・喫煙、および写真撮影はできません。  
例会場内では、携帯電話、アラーム時計等々の電源をお切り下さい。会員みんなで気持ちよく観劇できるように、協力しましょう！

鑑賞会活動日程

『ハーヴィーからの贈り物』観劇希望日×切日

6/3(水)

『ハーヴィーからの贈り物』座席シール渡し期間

6/16(火)～6/19(金)

『ハーヴィーからの贈り物』例会日(2ステージ)

7/10(金)		(ヨル)6:45～
7/11(土)	(ヒル)1:30～	

『三屋清左衛門残日録』後の退会手続き期間

5/11(月)～5/22(金)

中部・北陸ブロック活動日程

ブロック幹事会	5/11(月)	5/31(日)
ブロック企画会議	7/4(土)～5(日)	

例会の感想や運営についてのご意見をどんどんお寄せ下さい。

☎ 豊橋演劇鑑賞会のメールアドレス ☎ [enkan76@mx2.tees.ne.jp](mailto:enkan76@mx2.tees.ne.jp)